

資料 1 - 1

令和元年度

業務執行報告書 (I ~ VII)

公益社団法人全国都市清掃会議

# 目 次

I	国の審議会等の検討状況	1
1-1.	中央環境審議会循環型社会部会	1
1-2.	食品リサイクル専門委員会	1
1-3.	家電リサイクル制度評価検討小委員会	2
1-4.	小型電気電子機器リサイクル制度及び使用済製品中の有用金属の再生利用に関する小委員会	2
1-5.	容器包装の3R推進に関する小委員会	2
1-6.	水銀廃棄物適正処理検討専門委員会	2
1-7.	廃棄物処理制度専門委員会	3
1-8.	プラスチック資源循環戦略小委員会	3
1-9.	レジ袋有料化検討小委員会	3
2-1.	産業構造審議会産業技術環境分科会	4
2-2.	産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会	4
2-3.	産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会電気・電子機器リサイクルワーキンググループ	4
2-4.	産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会小型家電リサイクルワーキンググループ	4
2-5.	産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会容器包装リサイクルワーキンググループ	4
2-6.	産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会レジ袋有料化検討ワーキンググループ	4
3-1.	災害廃棄物対策推進検討会	4
3-2.	地域間協調ワーキンググループ	5
3-3.	一般廃棄物処理災害時初動対応検討ワーキンググループ	5
3-4.	災害廃棄物分野における人材育成促進検討会	6
4.	循環型社会形成推進交付金	6
5.	プラスチック資源循環戦略（概要）について	7
6.	廃エアゾール製品等の排出時の事故防止について（通知）	7
7.	小型充電式電池リサイクルのご案内	7
8.	食品ロスの削減の推進に関する法律について	7
9.	令和元年度台風第19号における災害廃棄物対策	7
	《国の廃棄物行政に係る審議会等の構成図》	8
	《循環型社会を形成するための法体系》	8
II	管理運営	9
1.	会 議	9
1)	総 会	9
2)	評議員会	10
3)	理 事 会	12
2.	大規模災害支援	16
III	調査研究事業	17
1.	廃棄物処理事業の経営及び技術等に関する調査研究	17
1)	定時総会決議に基づく要望書の取りまとめ	17
2)	総務委員会	17
3)	汚泥再生処理センター等施設整備の計画・設計要領（2019改訂版）作成・査読委員会	17

2. 要望・意見交換会等	18
1) 総会決議に基づく要望・意見交換会	18
2) 予算・税制等に関する政策懇談会	18
3. 廃棄物処理に係る図書 の 出版	18
1) 廃棄物処理施設整備実務必携（令和元年度版）	18
IV 普及啓発事業	19
1. 表彰等	19
1) 環境大臣表彰	19
2) 第42回会長表彰	19
3) 感謝状の贈呈	19
4) 表彰審査委員会	19
2. 研修会等	19
1) 自治体報告	19
2) 施設見学会	19
3) 第41回全国都市清掃研究・事例発表会	20
4) 廃棄物処理施設積算要領研修会	20
3. 広報活動	20
1) 機関誌「都市清掃」	20
2) 3R活動の推進	21
4. 国際交流	21
1) 第38回海外廃棄物処理事情調査団	21
5. 各地区協議会関係	21
V 技術指導相談事業	26
1. 技術指導相談事業	26
2. 廃棄物処理技術検証・確認事業	27
VI 適正処理困難廃棄物対策事業	28
1. 中央適正処理困難指定廃棄物対策協議会	28
2. 使用済み乾電池等広域回収・処理事業	28
VII 廃棄物処理プラント保険事業	30
VIII 資料編	別冊
VIII-1 令和元年度要望書	別冊 1
VIII-2 （公社）全国都市清掃会議技術指導業務実績	別冊 37
VIII-3 令和元年度「予備費」の使用について（災害廃棄物処理事業費補助金）	別冊 40
VIII-4 令和元年度環境省補正予算について	別冊 42
VIII-5 令和2年度環境省予算事項別表	別冊 52
VIII-6 プラスチック資源循環戦略（概要）	別冊 57
VIII-7 廃エアゾール製品等の排出時の事故防止について（通知）	別冊 58
VIII-8 小型充電式電池リサイクルのご案内	別冊 64
VIII-9 食品ロスの削減の推進に関する法律の概要	別冊 68
VIII-10 令和元年度台風第19号における災害廃棄物対策	別冊 69

## I 国の審議会等の検討状況

### 1-1. 中央環境審議会循環型社会部会

中央環境審議会循環型社会部会の検討事項は、廃棄物処理及びリサイクル推進に係る重要な事項に関する事、循環型社会形成推進基本法の規定に基づく循環型社会形成推進基本計画に関する事となっている。

《開催日程》

第 1 回：平成 25 年 3 月 29 日（金）

↓

第 29 回：令和元年 5 月 29 日（水）

- ① 食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律に基づく食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針等（答申）について
- ② 第四次循環型社会形成推進基本計画の評価・点検の進め方について
- ③ その他（報告事項）
  - ・プラスチック資源循環戦略の答申等について
  - ・優良認定制度の見直しについて
  - ・船舶の再資源化解体の適正な実施に関する法律施行令及び施行規則の公布について
  - ・北九州PCB 廃棄物処理事業（変圧器・コンデンサー等）の完了について
  - ・バーゼル条約第 14 回締約国会議の結果について
  - ・外国政府による廃棄物の輸入規制等に係る影響等に関する調査結果について
  - ・パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略（仮称）（案）について

第 30 回：令和元年 9 月 12 日（木）

- ① 中央環境審議会による第五次環境基本計画の点検の進め方について
- ② 第四次循環型社会形成推進基本計画の点検における重点点検分野について「万全な災害廃棄物処理体制の構築」
- ③ その他（報告事項）
  - ・浄化槽法の一部を改正する法律について
  - ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令について
  - ・令和 2 年度環境省重点施策

第 31 回：令和元年 9 月 13 日（金）

- ① レジ袋有料化検討小委員会の設置について

第 32 回：令和元年 11 月 20 日（水）

- ① 第四次循環型社会形成推進基本計画の点検における重点点検分野について

第 33 回：令和元年 12 月 20 日（金）

- ① 第四次循環型社会形成推進基本計画の点検について（中間報告）

第 34 回：令和 2 年 3 月 17 日（火）

（持ち回り審議） ① 第四次循環型社会形成推進基本計画の進捗状況の第 1 回点検結果（案）について

### 1-2. 食品リサイクル専門委員会

（食料・農業・農村政策審議会食料産業部会食品リサイクル小委員会との合同会合）

食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（平成 12 年法律第 116 号）の附則第 2 条において、「政府は、この法律の施行後 5 年を経過した場合において、この法律の施行状況について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。」とする規定に基づき、食品リサイクル制度について検討を行う。

《開催日程》

第 1 回：平成 18 年 8 月 28 日（月）

- ↓
- 第 20 回：平成 31 年 2 月 7 日（木）  
（合同会合）①食品循環資源の再生利用等の促進に関する新たな基本方針について  
②その他
- 第 21 回：平成 31 年 4 月 4 日（木）  
（合同会合）①食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針等（案）における意見の募集の結果について

### 1-3. 家電リサイクル制度評価検討小委員会

特定家庭用機器再商品化法に基づく家庭用機器のリサイクルに関する施行状況の点検等について検討を行う。

《開催日程》

第 1 回：平成 18 年 6 月 27 日（火）

↓

第 37 回：平成 30 年 12 月 10 日（月）

### 1-4. 小型電気電子機器リサイクル制度及び使用済製品中の有用金属の再生利用に関する小委員会

（産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会小型家電リサイクルワーキンググループとの合同会合）

使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律の施行状況を踏まえ、小型家電リサイクル制度の更なる在り方及び使用済製品中の有用金属の再生利用の在り方に関する事項について検討を行う。

《開催日程》

第 1 回：平成 23 年 3 月 31 日（木）

↓

第 17 回：平成 31 年 3 月 28 日（木）

（合同会合）

第 18 回：令和 元年 8 月 9 日（金）

（合同会合）① 関係者ヒアリング

第 19 回：令和 元年 11 月 8 日（金）

（合同会合）① 小型家電リサイクル制度の課題及び対応方針について

第 20 回：令和 元年 12 月 10 日（火）

（合同会合）① 前回審議会におけるご指摘事項について

② 小型家電リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書（案）

### 1-5. 容器包装の 3R 推進に関する小委員会

改正容器包装リサイクル法の可決・成立を受けて整備が必要な政省令事項を中心として、その他容器包装の 3R を一層推進するために必要な事項について、検討を行う。

《開催日程》

第 1 回：平成 18 年 8 月 1 日（火）

↓

第 18 回：平成 28 年 5 月 31 日（火）

### 1-6. 水銀廃棄物適正処理検討専門委員会

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）」に基づく水銀廃棄物の適正な処理等に関する事項について検討を行う。

### 1-7. 廃棄物処理制度専門委員会

現行の廃棄物処理法に基づく廃棄物の排出抑制、適正な処理等に関する施行状況の点検及び評価を行い、必要に応じ、環境の保全を前提とした循環型社会形成の一層の推進に向けた当該排出抑制、適正な処理等の促進方策について総合的な検討を行う。

《開催日程》

第1回：平成 28 年 5 月 19 日（木）

↓

第9回：平成 29 年 11 月 2 日（木）

### 1-8. プラスチック資源循環戦略小委員会

第4次循環型社会形成推進基本計画（平成 30 年 6 月 19 日閣議決定）を踏まえ、かつ「海洋プラスチック憲章」に掲げられた事項や数値目標も含め、プラスチックの資源循環を総合的に推進するための戦略の在り方について検討を行う。

《開催日程》

第1回：平成 30 年 8 月 17 日（金）

↓

第5回：平成 31 年 2 月 22 日（金）

令和元年 5 月 31 日 プラスチック資源循環戦略（概要）

（別冊 57 ページ掲載）

### 1-9. レジ袋有料化検討小委員会

（産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会レジ袋有料化検討ワーキンググループとの合同会合）

本年 5 月に環境省を含む関係省庁の連名で策定した「プラスチック資源循環戦略」では、プラスチックの資源循環を総合的に推進するための重点戦略の 1 つとして、リデュース等の徹底を位置付けており、その取組の一環としてレジ袋有料化義務化（無料配布禁止等）を行うことで消費者のライフスタイル変革を促すことを目指している。

レジ袋有料化義務化にあたっては、容器包装の使用合理化に係る取組を定めた容器包装リサイクル法（以下「法」という。）の枠組みを基本としつつ、レジ袋の有料化義務化の制度の在り方等について審議する。

《検討事項》

- ① レジ袋有料化義務化の具体的制度等の論点について
- ② レジ袋有料化義務化に係る関係団体等の意見について
- ③ レジ袋有料化義務化の実施方法案の審議について
- ④ 審議を経て決定したレジ袋有料化義務化の制度内容や議論に係る報告書について

《開催日程》

第1回：令和元年 9 月 26 日（木）

（合同会合）① レジ袋有料化義務化に向けた制度見直しについて

② 関係者ヒアリング

第2回：令和元年 10 月 11 日（金）

（合同会合）① レジ袋有料化義務化に向けた制度見直しに関する関係者ヒアリング

第3回：令和元年 11 月 1 日（金）

（合同会合）① レジ袋有料化のあり方について

第4回：令和元年 12 月 25 日（水）

（合同会合）① プラスチック製買物袋有料化について

② 事業者への周知・国民理解の促進について

2-1. 産業構造審議会産業技術環境分科会

2-2. 産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会

《開催日程》

第 1 回：平成 13 年 1 月 26 日（金）

↓

第 34 回：令和元年 8 月 30 日（金）書面審議

① レジ袋有料化検討ワーキンググループの設置について

2-3. 産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会電気・電子機器リサイクルワーキンググループ

（中央環境審議会循環型社会部会家電リサイクル制度評価検討小委員会との合同会合）

2-4. 産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会小型家電リサイクルワーキンググループ

（中央環境審議会循環型社会部会小型電気電子機器リサイクル制度及び使用済製品中の有用金属の再生利用に関する小委員会との合同会合）

2-5. 産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会容器包装リサイクルワーキンググループ

《開催日程》

第 1 回：平成 25 年 9 月 19 日（木）

↓

第 25 回：令和元年 10 月 31 日（木）

① 容器包装リサイクル法の再商品化義務量算定に係る量、比率等について

② 資源有効利用促進法に基づく識別表示のサイズの縮小等について

2-6. 産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会レジ袋有料化検討ワーキンググループ

（中央環境審議会循環型社会部会レジ袋有料化検討小委員会との合同会合）

3-1. 災害廃棄物対策推進検討会

環境省では、南海トラフ巨大地震や首都直下地震等、東日本大震災以上の規模の自然災害に備え、平成 25 年度から平成 27 年度まで「大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会」を、平成 28 年度から「災害廃棄物対策推進検討委員会」を開催し、災害廃棄物処理システムの強靱化に関する総合的な対策の検討を進めてきた。平成 30 年度は平成 26 年度にとりまとめられた提言「災害廃棄物対策に関して今後検討すべき事項とその進め方について（平成 30 年 3 月）」を受け、①全国各地で発生した自然災害を中心に災害廃棄物処理に関する実績の蓄積・検証、②災害時の廃棄物処理を見据えた地域間協調のあり方、③災害廃棄物処理システムや技術等に関する事項等についての検討を行い、その成果及び今後取組むべき課題を「災害廃棄物対策に関して今後取組むべき事項とその進め方について（平成 31 年 3 月）」としてとりまとめた。

本検討会は、これらの成果に基づき、大規模災害に備えた災害廃棄物対策の具体化を進めること等を目的として検討会を開催する。

《開催日程》

第 1 回：令和元年 7 月 3 日（水）

①検討会の目的及び開催要綱等について

②近年の自然災害における災害廃棄物対策について

③令和元年度の災害廃棄物対策に係る検討について

④災害廃棄物対策推進検討会等におけるこれまでの検討経過及び今後の課題

- ⑤ワーキンググループの設置について
  - ・技術・システム検討ワーキンググループ
  - ・地域間協調ワーキンググループ
  - ・災害時初動対応検討ワーキンググループ

第2回：令和2年3月3日（火）

- ①令和元年台風第15号・第19号における災害廃棄物対応
- ②災害廃棄物処理計画の策定状況及び策定促進に係る検討
- ③災害廃棄物対策に係る今後の検討について
- ④技術・システム検討ワーキンググループにおける検討
- ⑤地域間協調ワーキンググループにおける検討
- ⑥災害時初動対応検討ワーキンググループにおける検討

### 3-2. 地域間協調ワーキンググループ

近年、自然災害が頻発化、激甚化してきており、全国各地で豪雨や地震により膨大な災害廃棄物が発生している。

環境省では、南海トラフ地震や首都直下地震等、東日本大震災以上の規模の自然災害（以下「大規模災害」という。）に備え、平成28年度から「災害廃棄物対策推進検討委員会を開催し、災害廃棄物処理システムの強靱化に関する総合的な対策の検討を進めてきた。

平成30年度にとりまとめられた「災害廃棄物対策に関して今後取り組むべき事項とその進め方（平成31年3月）」に基づき、継続して災害廃棄物対策の地域間協調に係る検討を行う。

《開催日程》

第1回：令和元年9月3日（火）

- ① 地域間協調ワーキンググループにおける検討事項について
- ② 各地域ブロック行動計画の見直しに合わせた支援・受援の両面からブロックをまたぐ広域連携方策の検討
- ③ 南海トラフ地震を対象とした支援に関する具体的な派遣計画の検討
- ④ 災害時の情報発信のあり方に係る検討
- ⑤ 国際支援に係る検討

第2回：令和元年12月9日（月）

- ① 第1回ワーキンググループにおける意見と対応
- ② 各地域ブロック行動計画の見直しに合わせた支援・受援の両面からブロックをまたぐ広域連携方策の検討
- ③ 南海トラフ地震を対象とした支援に関する具体的な派遣計画の検討
- ④ 災害時の情報発信のあり方に係る検討
- ⑤ 国際支援に係る検討

第3回：令和2年2月5日（水）

- ① 第2回ワーキンググループにおける意見と対応
- ② 各地域ブロック行動計画の見直しに合わせた支援・受援の両面からブロックをまたぐ広域連携方策の検討
- ③ 南海トラフ地震を対象とした支援に関する具体的な派遣計画の検討
- ④ 災害時の情報発信のあり方に係る検討
- ⑤ 国際支援に係る検討

### 3-3. 一般廃棄物処理災害時初動対応検討ワーキンググループ

平成30年度に「一般廃棄物処理に関する災害時初動対応の手引き（案）」を作成した。令和元年度は、同手引き（案）を基に市区町村における初動対応のモデル検証や全国の自治体及び関



係団体への意見照会を通して、「一般廃棄物処理に関する災害時初動対応の手引き」を作成した。  
《開催日程》

第1回：令和元年9月4日（水）

- ① ワーキンググループについて
- ② 手引き、参考資料集の作成方針
- ③ モデル検証の実施方針
- ④ 意見照会の実施方針

第2回：令和元年11月29日（金）

- ① 検討結果（モデル検証）
- ② 結果報告（意見照会）
- ③ 手引きの修正（モデル検証、意見照会等を踏まえ）
- ④ 検討会への報告資料の確認

第3回：令和2年2月3日（月）

- ① 手引きの修正（前回WG等を踏まえ）
- ② 推進検討会への報告資料の確認
- ③ 来年度以降の取組

#### 3-4. 災害廃棄物分野における人材育成促進検討会

毎年のように災害が発生し、災害廃棄物の適正かつ迅速な処理に向けて様々な課題への対応が求められている。

特に、災害廃棄物処理は発生直後からの対応が重要であり、環境省や災害廃棄物処理支援ネットワーク（D.Waste-Net）との連携による被災自治体へのプッシュ型支援を進めているところであるが、広域的かつ同時多発する非常災害に備え、災害廃棄物対策の支援に携わる人材を平時から確保しておくことが重要となっている。

そこで、本検討会は、広域的かつ同時多発する非常災害発生時における災害廃棄物の適正かつ円滑な処理に向けて、平時の備えとして災害廃棄物対策の進捗に応じて必要な人材を戦略的に確保する仕組みを検討するとともに、災害廃棄物対応経験者のスキルアップについて検討することを目的に行う。

《開催日程》

第1回：令和元年9月4日（水）

- ① 災害廃棄物対策の対応経験者の人材バンク制度について
- ② 人材バンク制度登録者研修プログラム・教材について

第2回：令和元年11月6日（水）

- ① 災害廃棄物処理支援員制度に関する要綱（案）について
- ② 災害廃棄物処理支援員制度登録者研修プログラム・教材について

第3回：令和2年1月28日（火）

- ① 災害廃棄物処理支援員制度に関する要綱（案）について
- ② 災害廃棄物処理支援員制度登録者研修プログラム・教材について

#### 4. 循環型社会形成推進交付金

循環型社会形成推進交付金は、廃棄物の適正処理やリサイクルの促進、災害廃棄物処理対策など循環型社会の推進という観点から見て、市町村が推進している一般廃棄物処理施設の整備に不可欠の予算である。

特に、平成2年度以降は、ダイオキシン対策のために緊急かつ集中的に施設整備が全国でなされたところであるが、そのとき整備・更新された一般廃棄物処理施設（耐用年数は概ね20年程度）の多くは老朽化が進み、更新時期を迎えている状況にある。

全国都市清掃会議は、老朽化施設の建て替え需要に見合った循環型社会形成推進交付金の確保に向け、あらゆる機会を捉え取り組みを進めているところである。

《一般廃棄物処理施設整備に係る事業予算一覧表》

単位：百万円

	30年度予算		元年度予算		2年度予算	
	当初	2次補正	当初	補正		
循環型社会形成推進交付金	26,725	47,000	32,960	46,000	30,609	A
廃棄物処理施設整備交付金	2,790		2,590	1,300	2,590	B
二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金	25,740		25,950	1,000	25,950	C
小計	55,255	47,000	61,500	48,300	59,149	
東日本大震災復興対策特別会計	24,893		25,552	9,400	29,545	
合計	80,148		87,052	57,700	88,694	

注記：Aは、公共・従来型交付金

Bは、非公共・大規模災害に備えた廃棄物処理体制検討・拠点整備事業

Cは、エネルギー特別会計・廃棄物処理施設を核とした地域循環圏構築促進事業

《令和元年度「予備費」の使用について（災害廃棄物処理事業費補助金）》（別冊 40 ページ掲載）

《令和元年度環境省補正予算概要》

- ・令和元年度補正予算について（別冊 42 ページ掲載）
  - ①一般廃棄物処理施設の強靱化と災害時の拠点化の推進（一般廃棄物処理施設整備等事業）（別冊 47 ページ掲載）
  - ②循環型社会形成推進交付金（廃棄物処理施設分）（別冊 48 ページ掲載）
  - ③大規模災害に備えた廃棄物処理体制拠点整備事業（廃棄物処理施設整備交付金）（別冊 49 ページ掲載）
  - ④廃棄物処理施設を地域の防災・エネルギー拠点とするための施設整備事業（別冊 50 ページ掲載）
  - ⑤循環型社会形成推進交付金（特定被災地方公共団体の廃棄物処理施設整備）（別冊 51 ページ掲載）

《令和2年度環境省環境再生・資源循環局予算額》

- ・廃棄物処理施設整備に係る事業予算
  - ①令和2年度環境省予算事項別表（一般会計）（抜粋）（別冊 52 ページ掲載）
  - ②令和2年度環境省予算事項別表（エネルギー対策特別会計）（抜粋）（別冊 53 ページ掲載）
  - ③令和2年度環境省予算事項別表（東日本大震災復興特別会計）（別冊 54 ページ掲載）
    - ・一般廃棄物処理施設の整備（別冊 55 ページ掲載）
    - ・廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業（別冊 56 ページ掲載）
- 5. プラスチック資源循環戦略（概要）（別冊 57 ページ掲載）
- 6. 廃エアゾール製品等の排出時の事故防止について（通知）（別冊 58 ページ掲載）
- 7. 小型充電式電池リサイクルのご案内（別冊 64 ページ掲載）
- 8. 食品ロスの削減の推進に関する法律の概要（別冊 68 ページ掲載）  
（公布日：令和元年5月31日、施行日：令和元年10月1日）
- 9. 令和元年台風第19号における災害廃棄物対策（別冊 69 ページ掲載）

《国の廃棄物行政に係る審議会等の構成図》

環 境 省		経 済 産 業 省	
I-1-1	中央環境審議会 循環型社会部会	I-2-1	産業構造審議会 産業技術環境分科会
I-1-2	食品リサイクル専門委員会	I-2-2	廃棄物・リサイクル小委員会
I-1-3	家電リサイクル制度評価検討小委員会	I-2-3	電気・電子機器リサイクルWG
I-1-4	小型電気電子機器リサイクル制度及び使用済製品中の有用金属の再生利用に関する小委員会	I-2-4	小型家電リサイクルWG
I-1-5	容器包装の3R推進に関する小委員会	I-2-5	容器包装リサイクルWG
I-1-6	水銀廃棄物適正処理検討専門委員会		
I-1-7	廃棄物処理制度専門委員会		
I-1-8	プラスチック資源循環戦略小委員会		
I-1-9	レジ袋有料化検討小委員会	I-2-6	レジ袋有料化検討WG
	廃棄物処理基準等専門委員会		
	自動車リサイクル専門委員会		
	浄化槽専門委員会		
	建設リサイクル専門委員会		
	特定有害廃棄物等の輸出入等の規則の在り方に関する専門委員会		

《循環型社会を形成するための法体系》



## II 管理運営

### 1. 会議

#### 1) 総会

##### (1) 定時総会

日 時：令和元年5月23日（木）10：00～16：30

開催市：川崎市（神奈川県）

場 所：川崎市コンベンションホール

挨拶：全都清副会長（岡山市環境局長）・開催市（川崎市市長）

来賓祝辞：環境省、神奈川県、川崎市議会

第42回会長表彰：功労賞受賞者 25 団体 38 名

感謝状贈呈：12 名

講 話：最近の廃棄物行政の動向（環境省廃棄物適正処理推進課長）

議長選出：川崎市環境局長

議事録署名人：西宮市（兵庫県）、橿原市（奈良県）

#### 議 事

##### 第1号 平成30年度業務執行報告

業務執行理事より資料に基づき、国の審議会等の検討状況及び全都清の主な業務の執行状況について説明があった。説明のとおり満場一致で了承。

##### 第2号 各地区協議会提出要望事項について

各地区協議会より提出された要望事項129件について、代表都市より提出要望事項に係る趣旨説明があった。審議の結果、各地区協議会より提出された要望事項について採択することを満場一致で決定。

##### 第3号 決議について

事務局より129件の要望事項に基づく要望書の作成・整理については理事会に、要望の時期・要望先については会長にそれぞれ一任いただくということでの決議案の提案があった。提案のとおり満場一致で決定。

##### 第4号 平成30年度決算について

事務局より平成30年度決算について、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書等に基づき説明があった。これを受けて監事から監査結果の説明があった。審議の結果、説明のとおり満場一致で了承。

##### 第5号 理事・監事及び評議員の選任（補充）について

事務局より理事都市における人事異動及び地区協議会役員の交替等が行われたことに伴う後任の候補者の提案があった。任期は、前任者の残任期間の令和2年定時総会の終結の時までであるとの説明があった。

理事 青野 親裕 満場一致で決定。理事 斉藤 浩二 満場一致で決定。

理事 中野 明彦 満場一致で決定。理事 林 英彦 満場一致で決定。

理事 影山 伸枝 満場一致で決定。理事 長谷川一樹 満場一致で決定。

理事 福本 富夫 満場一致で決定。理事 藤本 則彦 満場一致で決定。

理事 坂本 秀和 満場一致で決定。理事 坂倉 潤 満場一致で決定。

監事 東野 岳 満場一致で決定。

評議員 土屋恒久から原 靖彦までの8名について、満場一致で決定。

第6号 令和元年度事業計画及び収支予算について  
事務局より令和元年度事業計画及び収支予算について、予算の基本方針及び事業計画並びに収支予算の説明があった。説明のとおり満場一致で了承。

第7号 令和2年度定時総会及び春季評議員会の開催都市について  
事務局より令和2年度定時総会及び春季評議員会の開催都市について、近畿地区協議会より堺市（大阪府）で決定した旨の回答があったことの説明があった。説明のとおり満場一致で了承。

## (2) 臨時総会

日 時：令和元年 10 月 24 日（木） 14 : 00 ~ 16 : 30

開 催 市：四日市市

場 所：都ホテル四日市

議長選出：四日市市環境部長

議事録署名人：尾鷲市（三重県）、熊野市（三重県）

議 事

第1号 令和元年度上期業務執行報告について  
業務執行理事より5月開催の定時総会以降の業務執行状況等について説明があった。説明のとおり了承。

第2号 令和元年度上期収支状況報告について  
事務局より令和元年度上期収支状況について、令和元年度上期収支状況総括表に基づき、例年とほぼ同様の状況であることの説明があった。説明のとおり了承。

第3号 令和元年度補正予算について  
事務局より令和元年度補正予算について、令和元年度収支計算書補正予算書総括表に基づき、資金需要に係る借入金5,000万円に関する補正予算であることの説明があった。説明のとおり了承。

第4号 評議員の選任（補充）について  
事務局より評議員の選任（補充）について、本年6月、東京二十三区清掃一部事務組合の監事都市の変更に伴い、葛飾区から墨田区に交替が行われたことに基づく、評議員の選任（補充）であることの説明があった。説明のとおり了承。

第5号 令和2年度事業計画及び予算の考え方について  
事務局より令和2年度事業計画及び予算の考え方に係る基本方針について説明があった。説明のとおり了承。

第6号 その他（令和2年度秋季評議員会の開催都市について）  
事務局より令和2年度秋季評議員会の開催都市は、評議会開催要綱に定める順番表により近畿地区協議会内の都市となっていること。近畿地区協議会から開催都市を京都市（京都府）に決定した旨の回答があったことの説明があった。説明のとおり了承。

## 2) 評議員会

### (1) 春季評議員会

日 時：令和元年 5 月 22 日（水） 15 : 30 ~ 17 : 00

開 催 市：川崎市（神奈川県）

場 所：川崎市コンベンションホール

挨拶：全都清副会長（岡山市環境局長）・開催市（川崎市環境局長）

議長選出：横須賀市資源循環部長

議事録署名人：土浦市（茨城県）、川口市（埼玉県）

議 事

第1号 平成30年度業務執行報告について

業務執行理事より資料に基づき、国の審議会等の検討状況及び全都清の主な務の執行状況について説明があった。説明のとおり了承。

第2号 各地区協議会提出要望事項について

事務局より各地区協議会より提出された要望事項129件を4つの大項目に整理し取りまとめたこと。総会では、代表都市13団体より提出要望事項に係る趣旨説明を行ってもらうことの説明があった。説明のとおり了承。

第3号 決議について

事務局より各地区協議会より提出された要望事項129件について、代表都市13団体より提出要望事項に係る趣旨説明を総会において行ってもらった後、総会決議を行うこと。決議に基づく要望の時期及び要望先の取り扱いについては会長に、要望書の整理については理事会に一任していただくという前提での決議を行うことの説明があった。説明のとおり了承。

第4号 平成30年度決算について

事務局より平成30年度決算について、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書等に基づき説明があった。これを受けて監事から監査結果の説明があった。説明のとおり了承。

第5号 理事・監事及び評議員の選任（補充）について

事務局より理事都市における人事異動及び地区協議会役員の交替等が行われたことに伴う後任の理事、監事、評議員を定時総会に提案すること。理事・監事及び評議員の候補者は、理事10名、監事1名、評議員8名であること。任期は、前任者の残任期間の令和2年の定時総会の終結の時までであることの説明があった。説明のとおり了承。

第6号 令和元年度事業計画及び収支予算について

事務局より令和元年度事業計画及び収支予算について、予算の基本方針及び事業計画並びに収支予算の説明があった。説明のとおり了承。

第7号 令和2年度定時総会及び春季評議員会の開催都市について

事務局より令和2年度定時総会及び春季評議員会の開催都市について、近畿地区協議会より堺市（大阪府）で決定した旨の回答があったことの説明があった。説明のとおり了承。

## (2) 秋季評議員会

日 時：令和元年10月24日（木）11：00～12：20

開催市：四日市市（三重県）

場 所：都ホテル四日市

挨拶：全都清会長（横浜市資源循環局長）・開催市（四日市市副市長）

議長選出：津市環境部長

議事録署名人：金沢市（石川県）、鈴鹿市（三重県）

議 事

第1号 臨時総会の開催について

事務局より秋は秋季評議員会での開催であったが、今年度も昨年度と同様に、技術指導相談事業の契約件数の増加等による一時的支出の増加が見込まれることによる「補正予算」の案件が生じたことに加えて、循環型社会形成推進交付金、個別リサイクル法に係る動向などについての情報提供等を行うため、できる限り多くの会員にご参加をいただきたく、臨時総会を開催することの説明があった。説明のとおり了承。

- 第2号 令和元年度上期業務執行報告について  
業務執行理事より5月開催の春季評議員会以降の業務執行状況等について説明があった。説明のとおり了承。
- 第3号 令和元年度上期収支状況報告について  
事務局より令和元年度上期収支状況について、令和元年度上期収支状況総括表に基づき、例年とほぼ同様の状況であることの説明があった。説明のとおり了承。
- 第4号 令和元年度補正予算について  
事務局より令和元年度補正予算について、令和元年度収支計算書補正予算書総括表に基づき、資金需要に係る借入金5,000万円に関する補正予算であることの説明があった。説明のとおり了承。
- 第5号 評議員の選任（補充）について  
事務局より評議員の選任（補充）について、本年6月、東京二十三区清掃一部事務組合の監事都市の変更に伴い、葛飾区から墨田区に交替が行われたことに基づく、評議員の選任（補充）であることの説明があった。説明のとおり了承。
- 第6号 令和2年度事業計画及び予算の考え方について  
事務局より令和2年度事業計画及び予算の考え方に係る基本方針、事業計画及び予算の考え方について説明があった。説明のとおり了承。
- 第7号 令和2年度秋季評議員会の開催都市について  
事務局より令和2年度秋季評議員会の開催都市は、評議会開催要綱に定める順番表により近畿地区協議会内の都市となっていること。近畿地区協議会から開催都市を京都市（京都府）に決定した旨の回答があったことの説明があった。説明のとおり了承。

### 3) 理事会

平成31年度第1回理事会

日時：平成31年4月24日（水） 14：30～15：30

場所：東海大学校友会館

議事

- (1) 代表理事・業務執行理事に係る業務執行報告について  
代表理事・業務執行理事より1月21日開催の理事会以降の業務執行状況について報告があった。報告のとおり了承。
- (2) 令和元年度会長感謝状について  
事務局より令和元年度会長感謝状候補者12名について説明があった。説明のとおり決定。
- (3) 平成30年度決算について  
事務局より平成30年度決算について、収支計算書、貸借対照表、正味財産

増減計算書等に基づき説明があった。これを受けて監事から監査結果の説明があった。説明のとおり了承。

- (4) 令和元年度事業計画及び収支予算について  
事務局より令和元年度事業計画及び収支予算について、予算の基本方針及び事業計画並びに収支予算の説明があった。説明のとおり了承。
- (5) 令和元年度秋季評議員会・臨時総会開催日程について  
事務局より令和元年度秋季評議員会、臨時総会を令和元年10月24日（木）、25日（金）、四日市市の四日市都ホテルにて開催する旨の説明があった。説明のとおり了承。
- (6) 会員の入退会について  
事務局より入会4（正会員2団体、特別会員個人2名）、退会7（正会員5団体、賛助会員2団体）について説明があった。説明のとおり了承。

#### 令和元年度第2回理事会

日時：令和元年5月22日（水）14：00～14：45

場所：川崎市コンベンションホール

#### 議 事

- (1) 業務執行報告  
代表理事及び業務執行理事より4月24日開催の理事会以降の業務執行状況について報告、報告のとおり了承。
- (2) 各地区協議会提出要望事項について  
事務局より各地区協議会より提出された要望事項129件を4つの大項目に整理し取りまとめたこと。総会では、代表都市13団体より提出要望事項に係る趣旨説明を行ってもらうことの説明があった。説明のとおり了承。
- (3) 決議について  
事務局より各地区協議会より提出された要望事項129件について代表都市13団体より提出要望事項に係る趣旨説明を総会において行った後、総会決議を行うこと。決議に基づく要望の時期及び要望先の取り扱いについては会長に、要望書の整理については理事会に一任していただくという前提での決議を行うことの説明があった。説明のとおり了承。
- (4) 理事・監事及び評議員の選任（補充）について  
事務局より理事都市における人事異動及び地区協議会役員の交替等が行われたことに伴う後任の理事、監事、評議員を定時総会に提案すること。理事・監事及び評議員の候補者は、理事10名、監事1名、評議員8名であること。任期は、前任者の残任期間の令和2年の定時総会の終結の時までであることの説明があった。説明のとおり了承。
- (5) 令和2年度定時総会及び春季評議員会の開催都市について  
事務局より令和2年度定時総会及び春季評議員会の開催都市について、近畿地区協議会より堺市（大阪府）で決定した旨の回答があったことの説明があった。説明のとおり了承。
- (6) 令和元年度春季評議員会及び定時総会の進め方についてについて  
事務局より令和元年度春季評議員会及び定時総会の進め方の進め方について説明があった。説明のとおり了承。



令和元年度第3回理事会

日 時：令和元年5月23日（木） 16：30～16：45

場 所：川崎市コンベンションホール

議 事：副会長の選任について

副会長に青野親裕理事、斉藤浩二理事を満場一致で決定。

令和元年度第4回理事会

日 時：令和元年7月25日（木） 13：00～13：30

場 所：東海大学校友会館

議 事

- (1) 代表理事・業務執行理事の業務執行報告  
代表理事及び業務執行理事より5月23日開催の理事会以降の業務執行状況に報告があった。報告のとおり了承。
- (2) 令和元年度総会決議に基づく要望書及び要望行動について  
事務局より定時総会において採択された要望事項に係る要望書案及び要望行動案について説明があった。説明のとおり了承。
- (3) 会員の入退会について  
事務局より入会2（正会員2団体）について説明があった。説明のとおり了承。
- (4) 都市清掃労働組合協議会からの要請書について  
事務局より都市清掃労働組合協議会からの要請書について説明があった。説明のとおり了承。

令和元年度第5回理事会議事録

日 時：令和元年10月24日（木） 10：00～10：45

場 所：都ホテル四日市

議 事

- (1) 代表理事・業務執行理事業務執行報告について  
代表理事より前回（7月25日）開催の理事会以降の業務執行状況等について説明があった。続いて、業務執行理事より前回（7月25日）開催の理事会以降の業務執行状況等について説明があった。説明のとおり了承。
- (2) 令和元年度上期収支状況報告について  
事務局より令和元年度上期収支状況について、令和元年度上期収支状況総括表に基づき、例年とほぼ同様の状況であることの説明があった。説明のとおり了承。
- (3) 令和元年度補正予算について  
事務局より令和元年度補正予算について、令和元年度資金計画（補正予算関係資料）及び令和元年度収支計算書補正予算書総括表に基づき、資金需要に係る借入金5,000万円に関する補正予算の説明後、具体的借入として、借入先はみずほ銀行神田支店、借入期間は令和元年12月2日より令和2年4月30日であることの説明があった。説明のとおり了承。
- (4) 評議員の選任（補充）について  
事務局より評議員の選任（補充）について、本年6月、東京二十三区清掃一

部事務組合の監事都市の変更に伴い、葛飾区から墨田区に交替が行われたことに基づく、評議員の選任（補充）であることの説明があった。説明のとおり了承。

- (5) 令和2年度事業計画及び予算の考え方について  
事務局より令和2年度事業計画及び予算の考え方に係る基本方針について説明があった。説明のとおり了承。
- (6) 令和2年度秋季評議員会の開催都市について  
事務局より令和2年度秋季評議員会の開催都市は、評議会開催要綱に定める順番表により近畿地区協議会内の都市となっていること。近畿地区協議会から開催都市を京都市（京都府）に決定した旨の回答があったことの説明があった。説明のとおり了承。
- (7) 令和元年度秋季評議員会及び臨時総会の進め方について  
事務局より令和元年度秋季評議員会及び臨時総会の進め方について説明があった。説明のとおり了承。
- (8) 会員の入退会について  
事務局より入会会員1団体（賛助会員1）、退会会員1名（特別会員個人1名）について説明があった。説明のとおり了承。

#### 令和元年度第6回理事会議事録

日 時：令和2年1月20日（月） 13：30～14：05

場 所：東海大学校友会館

#### 議 事

- (1) 代表理事・業務執行理事業務執行報告について  
代表理事より令和元年度第5回理事会、臨時総会以降に係る業務執行報告があった。引き続き業務執行理事より令和元年度第5回理事会、臨時総会以降の業務執行について資料に基づき説明があった。説明のとおり了承。
- (2) 第43回会長表彰について  
事務局より令和2年度（第43回）会長表彰候補者343名（功労賞35名、勤続賞308名）について説明があった。説明のとおり決定。
- (3) 令和2年度定時総会開催日程について  
事務局より令和2年度定時総会開催日程を令和2年5月20日（水）、21日（木）、22日（金）、堺市のホテルアゴーラリージェンシー大阪堺にて開催する旨の説明があった。説明のとおり決定。
- (4) 令和元年度収支決算見込について  
事務局より令和元年度収支決算見込について、令和元年度収支決算見込書総括表に基づき説明があった。説明のとおり了承。
- (5) 令和2年度事業計画及び収支予算について  
事務局より令和2年度事業計画及び収支予算書に基づき説明があった。説明のとおり決定。

#### 議事6 会員の入退会について

事務局より退会会員3団体（正会員3団体）について説明があった。説明のとおり了承。

## 2. 大規模災害支援

令和元年度も大規模災害にみまわれた被災地域に対して、環境省の要請に基づき、会員の協力を得て、できる限りの支援活動を行った。

### ◆台風第 15 号に係る支援活動（9月中旬～）

支 援 先：館山市（千葉県）、鴨川市、（千葉県）、富津市（千葉県）、  
南房総市（千葉県）、鋸南町（千葉県）

支 援 内 容：災害廃棄物の収集、運搬等

支 援 団 体：さいたま市、川口市、市川市、船橋市、習志野市、川崎市、横須賀市、  
藤沢市、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、江東区、  
品川区、目黒区、世田谷区、中野区、杉並区、北区、荒川区、板橋区、  
練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、昭島市、町田市、  
国分寺市、

### ◆台風第 19 号に係る支援活動（10月中旬～）

支 援 先：丸森町（宮城県）、郡山市（福島県）、太子町（茨城県）、  
常陸大宮市（茨城県）、栃木市（栃木県）、佐野市（栃木県）、  
茂原市（千葉県）、川崎市（神奈川県）、長野市（長野県）

支 援 内 容：災害廃棄物の収集、運搬等

支 援 団 体：仙台市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、千代  
田区、中央区、港区、文京区、台東区、江東区、北区、板橋区、練馬  
区、葛飾区、江戸川区、

注記：今回の災害は、被災地が広範にわたっており、Dウエストネットの枠組みによる  
全都清の調整の他、様々なルートにより支援活動が行なわれたため、情報を把握  
したものは全て記載。

### Ⅲ 調査研究事業

#### 1. 廃棄物処理事業の経営及び技術等に関する調査研究

##### 1) 定時総会決議に基づく要望書の取りまとめ

令和元年度定時総会において決議された4項目129件の要望事項について、国等への要望を実施するにあたり、要望書としての取りまとめ及び取り扱いについて、理事都市と協議を行った。

第1回：令和元年6月25日（火）第一次案

第2回：令和元年7月11日（木）第二次案

第3回：令和元年7月19日（金）最終案

##### 2) 総務委員会（令和元年度第1回）

日時：令和2年1月15日（水）15：00～16：30

場所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター

議事：①令和2年度（第43回）会長表彰について

②令和元年度収支決算見込について

③令和2年度事業計画及び収支予算について

④令和2年度定時総会開催日程について

⑤令和元年度業務執行状況について

⑥会員の入退会状況について

⑦その他

##### 3) 汚泥再生処理センター等施設整備の計画・設計要領（2019改定版）作成・査読委員会

汚泥再生処理センター等施設整備の計画・設計要領（以下「計画・設計要領」は平成19年3月に改訂され、既に12年を経過している。この間、廃棄物行政を取り巻く状況は変化しており、適用される技術も進歩している。加えて、簡易水洗式便所の普及や浄化槽の適正管理の推進に伴い、汚泥再生処理センターに搬入されるし尿や浄化槽汚泥の性状の希薄化が進んでいる状況にある。

汚泥再生処理センター等の整備にあたっては、最新の制度、技術、情報等に基づいて事業を推進していくことが求められることから、既刊の「計画・設計要領」の改訂を行うことを目的に開催。

第1回作成・査読委員会

日時：令和元年11月26日（火）14：00～16：00

場所：航空会館

議事：①委員会について

②委員会スケジュールについて

③改定について

④その他

## 2. 要望・意見交換会等

### 1) 総会決議に基づく要望・意見交換会

令和元年度定時総会の決議に基づき、廃棄物処理事業を推進する上で直面する諸課題について政府・与党等に対して要望書を提出した。また、環境省はじめ関係省庁と意見交換等を実施した。

#### (1) 令和元年度定時総会決議に基づく要望

要望日：令和元年7月25日(木)、29日(月)、30日(火)

要望先

- ① 政府・与党：自民党、公明党
- ② 関係省庁：環境省、経済産業省、資源エネルギー庁、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、財務省、国税庁、総務省
- ③ 関係団体：全国市長会他28団体

要望事項：①廃棄物処理施設整備等廃棄物行政に対する財政措置の強化拡充

②リサイクル関連法の推進

③適正処理困難廃棄物対策の促進

④廃棄物の適正処理等の推進

(別冊2ページ掲載)

注記：要望先に応じて、要望事項①から④を選択し提出。

#### (2) 令和元年度定時総会の決議に基づく意見交換会

令和元年度定時総会の決議に基づき、廃棄物処理事業を推進する上で直面する諸課題について要望書に基づき関係省庁と意見交換を実施した。

実施日：令和元年7月25日(木)

実施先：①環境省環境再生・資源循環局

②経済産業省産業技術環境局資源循環経済課

③経済産業省商務情報政策局環境リサイクル室

### 2) 予算・税制等に関する政策懇談会

自由民主党において開催された「予算・税制等に関する政策懇談会」において、予算・税制・一般政策の要望聴取と意見交換が実施された。全都清より稲垣事務局長が出席し、循環型社会形成推進交付金の確保等について要望した。

開催日時：令和元年10月30日(水) 14:30～

開催場所：自由民主党本部

提出要望書：廃棄物処理施設整備等廃棄物行政に対する財政措置の拡充強化に関する要望(別冊6～12ページ参照)

## 3. 廃棄物処理に係る図書の出版

### 1) 廃棄物処理施設整備実務必携(令和元年度版) 発行：令和元年8月22日

## IV 普及啓発事業

### 1. 表彰等

#### 1) 環境大臣表彰（令和元年度循環型社会形成推進功労者等）

日 時：令和元年 11 月 15 日（金）

場 所：東京商工会議所 東商グランドホール

受賞者：173名

#### 2) 第 42 回会長表彰

(1) 功 勞 賞 38 名（令和元年度定時総会において表彰）

(2) 勤 続 賞 296 名（平成 31 年度各地区協議会総会等において表彰）

#### 3) 感謝状の贈呈 12 名（令和元年度定時総会において贈呈）

#### 4) 表彰審査委員会

##### 第 104 回表彰審査委員会

日 時：令和元年 10 月 10 日（木） 14 : 00 ~ 15 : 15

場 所：全国都市清掃会議 会議室

議 事：①第 43 回会長表彰の実施について

②第 43 回会長表彰勤続賞の地区別推薦人員について

③その他

##### 第 105 回表彰審査委員会

日 時：令和 2 年 1 月 15 日（水） 14 : 00 ~ 15 : 00

場 所：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター

議 事：①前回委員会以降の経過について

②第 43 回会長表彰各賞候補者の審査について

③会長感謝状について

④その他

### 2. 研修会等

#### 1) 自治体報告

##### ①令和元年度定時総会

日 時：令和元年 5 月 23 日（木） 15 : 30 ~ 16 : 30

開 催 市：川崎市（神奈川県）

場 所：川崎市コンベンションホール

演 題：川崎市の廃棄物処理事業について

講 師：川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当部長

参加人数：200 名

##### ②令和元年度臨時総会

日 時：令和元年 10 月 24 日（木） 15 : 30 ~ 16 : 30

開 催 市：四日市市（三重県）

場 所：都ホテル四日市

演 題：四日市市の廃棄物行政

講 師：四日市市環境部長

参加人数：150 名

#### 2) 施設見学会

##### ①令和元年度定時総会施設見学会

日 時：令和元年 5 月 24 日（金） 9 : 00 ~ 12 : 00

見学施設：川崎市浮島資源化処理施設、浮島太陽光発電所、エネルギー循環型ごみ  
収集システム、かわさきエコ暮らし未来館

参加人数：120名

②令和元年度秋季評議員会施設見学会

日 時：令和元年 10 月 25 日（金） 8：30～11：30

見学施設：四日市市クリーンセンター

参加人数：130名

3)第 41 回全国都市清掃研究・事例発表会

全国都市清掃研究・事例発表会は、廃棄物処理事業に携わる自治体、企業、学術等の団体が、日頃の調査、研究等の成果に関する情報発信と意見交換を行うことにより事業の円滑・効率的な執行に資することを目的に実施。

開催日：令和 2 年 1 月 22 日（水）、23 日（木）、24 日（金）

開催場所：豊橋市（愛知県）・ロワジュールホテル豊橋

参加人数：令和元年度 1,329 名、H30年度 1,036 名

(1) 第 41 回全国都市清掃研究・事例発表会実行委員会

①第 1 回実行委員会

日 時：令和元年 7 月 3 日（水） 14：00～16：00

場 所：全国都市清掃会議 会議室

協議事項：①日程及び会場について

②特別企画について

③発表論文募集案内について

④令和 2 年度（第 42 回）開催都市について（福山市（広島県）決定）

②第 2 回実行委員会

日 時：令和元年 9 月 13 日（金） 13：30～15：00

場 所：豊橋市・ロワジュールホテル豊橋

協議事項：①第 1 回実行委員会議事録の確認について

②発表申込み状況及び申込論文について

③全体スケジュールについて

（部門別発表、特別講演、ポスター展示及び発表、施設見学等）

④座長について

4)廃棄物処理施設積算要領研修会

開催日等：令和元年 11 月 28 日（木）中央大学駿河台記念館（正会員他）78 名

令和元年 12 月 6 日（金）エル・おおさか（正会員他）97 名

研修内容：①廃棄物処理施設維持管理業務積算要領について

②廃棄物処理施設点検補修工事積算要領について

3. 広報活動

1)機関誌「都市清掃」

(1) 機関誌「都市清掃」の発行

349 号（5 月号）特集／第 40 回全国都市清掃研究・事例発表会より

350 号（7 月号）特集／廃棄物エネルギーの地産地消と新たな価値の創出

351 号（9 月号）特集／平成 30 年災害を振り返って

352 号（11 月号）特集／食品ロスの削減を進めるには

353 号（1 月号）特集／これからの日本の最終処分場

354 号（3 月号）特集／海外廃棄物処理事情～第 36 回及び第 37 回海外廃棄物処理事情調査団報告より～

## (2) 編集委員会

第186回～第191回編集委員会

開催日：平成31年4月17日（水）・令和元年6月25日（火）・8月22日（木）・10月23日（水）・12月20日（金）・令和2年2月12日（水）

開催時間：15：00～17：00

開催場所：全国都市清掃会議 会議室

協議事項：都市清掃350号（7月号）・351号（9月号）・352号（11月号）・353号（令和2年1月）・354号（3月号）・355号（5月号）・356号（7月号）の編集・企画等について協議。

## 2) 3R活動の推進

循環型社会づくり活動の一層の推進のため、3Rに関する活動を3R活動推進フォーラムの会員として第14回3R推進全国大会（令和元年10月29日：新潟市開催）へ参画など諸活動に参加。

## 4. 国際交流

### 1) 第38回海外廃棄物処理事情調査団

「廃棄物問題」及び「環境問題」や「廃棄物処理施設とライフラインの融合」等に先進的に取り組んでいるヨーロッパ地域の処理施設及び関係機関を視察し、海外の廃棄物処理事業の調査を行い、あわせて国際交流を深めることにより、今後、各市区町村や関係者等の廃棄物行政の進展や新たな処理技術への対応に寄与することを目的に下記日程により実施。

調査日：令和元年11月3日（日）～9日（土）

調査先：オランダ王国、ドイツ連邦共和国

## 5. 各地区協議会関係

### 1) 北海道地区協議会

#### (1) 総会

日時：平成31年4月19日（金）

場所：札幌市（北海道）・ホテルノースシティ

議題：①平成30年度会務報告

②平成30年度歳入歳出決算及び会計監査報告

③平成31年度事業計画（案）

④平成31年度歳入歳出予算（案）

⑤公益社団法人全国都市清掃会議定時総会への提出議題等

⑥役員の改選について（案）

報告：公益社団法人全国都市清掃会議 総務部長 大川敏彰

#### (2) 研修会

日時：令和2年1月30日（木）

場所：札幌市・ホテルノースシティ

研修内容：①食品ロス・食品リサイクルの現状と課題及び今後の食品リサイクルの向上に向けて

一般社団法人全国食品リサイクル連合会

専務理事・事務局長 松岡力雄

②釧路市の中間処理施設と最終処分場について

釧路市市民環境部環境事業課 事業施設担当 篠田晃一



③ごみ処理の広域化について

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課 主幹 和田博夫

④二輪車リサイクルシステムについて

公益社団法人自動車リサイクル促進センター

二輪車事業部 主事 下川暁治

2)東北地区協議会

(1) 総会

日 時：平成 31 年 4 月 18 日（木）

場 所：八戸市（青森県）・八戸プラザホテル

第 42 回会長表彰（勤続賞）

議 題：①平成 30 年度会務報告及び歳入歳出決算について

②平成 31 年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について

③平成 31 年度要望事項について

④令和 2 年度総会等の開催都市について（滝沢市）

⑤会員の入退会について

報 告：公益社団法人全国都市清掃会議 専務理事 大熊洋二

施設見学：八戸セメント(株)、東京鉄鋼(株)八戸工場

3)関東地区協議会

(1) 総会

日 時：令和元年 5 月 10 日（金）

場 所：足利市（栃木県）

第 42 回会長表彰（勤続賞）

議 題：①平成 30 年度会務報告

②平成 30 年度決算（案）

③令和元年度事業計画（案）

④令和元年度予算（案）

⑤令和元年度役員都市（案）

⑥令和 2 年度総会の開催都市（案）（高崎市）

⑦令和元年度（公社）全国都市清掃会議総会提出要望事項（案）

報 告：公益社団法人全国都市清掃会議 総務部長 大川敏彰

(2) 研修会

日 時：令和元年 8 月 30 日（金）

場 所：千葉市・ホテルフランクス B I F

講 演：①食品ロスの現状と取組

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室

環境専門調査員 氏家廣大

②熊本地震における災害廃棄物処理の実務と課題

熊本市環境局資源循環部廃棄物計画課 主幹 松永直樹

4)北陸東海地区協議会

(1) 総会

日 時：平成 31 年 4 月 18 日（木）・19 日（金）

場 所：刈谷市（愛知県）・シャインズ

第 42 回会長表彰（勤続賞）

講 演：最近の廃棄物処理事情と全都清の取組み

公益社団法人全国都市清掃会議 事務局長 稲垣 正

議 題：①平成 30 年度事業報告及び決算について

- ②平成 31 年度事業計画案及び予算案について
- ③役員の改選について
- ④建議要望事項について
- ⑤平成 32 年度地区協議会総会開催都市について（長岡市）

施設見学：刈谷市環境センター、刈谷市歴史博物館

(2) 研修会

日 時：令和元年 8 月 8 日（木）・9 日（金）

場 所：高山市・ひだホテルプラザ

研修内容：①最終処分場延命化技術のご紹介

（株）神鋼環境ソリューション 課長 黒岡達男

②プラスチックの循環的な利用と LCA

（一社）プラスチック循環利用協会 専務理事 井田久雄

③二輪車リサイクルシステムについて

（公財）自動車リサイクル促進センター

二輪車事業部長 小柴 優

施設見学：飛騨高山しぶきの湯 小型木質バイオマス発電

5) 近畿地区協議会

(1) 総 会

日 時：平成 31 年 4 月 26 日（金）

場 所：京都市（京都府）・からすま京都ホテル

第 42 回会長表彰（勤続賞）

講 演：最近の廃棄物処理事情と全都清の取組み

公益社団法人全国都市清掃会議 事務局長 稲垣 正

議 題：①平成 30 年度事業及び決算報告

②平成 32 年度全国都市清掃会議春季評議員会及び定時総会開催都市の選定について

③近畿地区協議会における全国都市清掃会議評議員会及び総会開催都市の選定について

④平成 31 年度事業計画案及び予算案

⑤平成 31 年度（公社）全国都市清掃会議への建議事項

⑥平成 31 年度・32 年度役員改選について

(2) 研修会

日 時：令和 2 年 1 月 14 日（火）

場 所：神戸市・ザ・マーカススクエア神戸

研修内容：①食品ロス削減に向けた取組みについて

京都経済短期大学 准教授 小島理沙

②廃プラスチック類等に対する環境省の取組みについて

環境省近畿地方環境事務所 資源循環課長 山根正慎

③普及広報

・二輪車リサイクルシステムに関する説明について

（公財）自動車リサイクル促進センター

・エアゾールのガス抜きとカセットボンベの安全な廃棄

（一社）日本ガス石油機器工業会

6) 中国・四国地区協議会

(1) 総 会

日 時：平成 31 年 4 月 25 日（木）・26 日（金）

場 所：徳島市（徳島県）・JR ホテルクレメント徳島

第 42 回会長表彰（勤続賞）

報 告：公益社団法人全国都市清掃会議会務報告

公益社団法人全国都市清掃会議 専務理事 大熊洋二

議 題：①平成 30 年度事業報告

②平成 30 年度収支決算

③平成 31 年度事業計画（案）

④平成 31 年度収支予算（案）

⑤平成 31 年度要望事項

⑥平成 31 年度・令和 2 年度役員都市の改選

⑦令和 2 年度総会の開催都市（松江市、令和 2 年 4 月 23 日・24 日）

施設見学：徳島市西部環境事業所、㈱三幸クリーンサービスセンター、㈱フジゲン

## (2) 研修会

日 時：令和 2 年 2 月 7 日（金）

場 所：鳥取市・ホテルモナーク鳥取

研修内容：①循環型社会に向けた法制度の発展

公立鳥取環境大学 講師 門木秀幸

②鳥取県中部地震における災害廃棄物の処理経過

鳥取県生活環境部循環型社会推進課 課長補佐 古川義秀

③近年の自然災害における災害廃棄物対策について

環境省中国四国地方環境事務所四国事務所 専門官 大谷可奈子

④二輪車リサイクルシステムについて

（公財）自動車リサイクル促進センター

二輪車事業部長 小柴 優

## 7)九州地区協議会

### (1) 総 会

日 時：平成 31 年 4 月 11 日（木）、12 日（金）

場 所：熊本市（熊本県）・熊本ホテルキャッスル

第 42 回会長表彰（勤続賞）

議 題：①平成 30 年度（公社）全国都市清掃会議会務報告

公益社団法人全国都市清掃会議 総務部長 大川敏彰

②平成 30 年度九州地区協議会会務報告

③平成 30 年度決算について

④平成 31 年度予算について

⑤全国都市清掃会議定時総会提出要望事項について

⑧次期九州地区協議会総会等開催都市について（大分市）

施設見学：エコポート九州、桜の馬場

### (2) 研修会

日 時：令和元年 10 月 24 日（木）・25 日

場 所：熊本市・熊本城ホール

研修内容：①プラスチックごみ問題について

熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授 中田晴彦

②廃棄物関係団体からのお知らせ

（公財）自動車リサイクル促進センター

（一社）日本エアゾール協会

（一社）日本消火器工業会

③各都市のプラスチックごみ対策に係る取組事例紹介  
各県1都市（組合）

施設見学：熊本市西部環境工場、桜の馬場 城彩苑

8)賛助会員協議会

(1) 総 会

日 時：平成 31 年 4 月 16 日（火） 14 : 30 ~ 17 : 00

場 所：法曹会館

議 題：①平成 30 年度（公社）全国都市清掃会議会務報告  
公益社団法人全国都市清掃会議 専務理事 大熊洋二

② 2018 年度賛助会員協議会会務報告

③ 2018 年度収支決算について

④ 役員の変更について

⑤ 2019 年度事業計画及び収支予算について

特別講演：最近の廃棄物・リサイクル行政の動向について（講師：環境省）

(2) 施設見学会

①令和元年度第1回施設見学会

見学日時：令和元年 6 月 26 日（水） 13 : 45 ~ 15 : 15

見学施設：横手市・クリーンプラザよこて

参加人数：35 名

②令和元年度第2回施設見学会

見学日時：令和元年 11 月 20 日（水） 13 : 15 ~ 14 : 30

見学施設：四万十町若井クリーンセンター

参加人数：27 名

## V 技術指導相談事業

### 1. 技術指導相談事業

#### 1) 技術指導

本事業は、昭和 59 年度から実施しており、市町村等がごみ処理施設などの廃棄物処理施設を建設する場合の求めに応じてその技術力を補完する立場から技術指導を行っており、これまでに 113 件が完了している。令和元年度も西いぶり広域連合をはじめ 30 団体に対し実施している。

(別冊 37 ページ掲載)

#### ○技術指導内容

- ①ごみ処理基本計画策定の助言、②ごみ処理施設整備事業計画策定の助言、
- ③環境影響調査の助言、④発注仕様書審査、⑤見積図書審査、⑥実施設計審査、
- ⑦建設監理援助、⑧性能試験援助、⑨運転・保全業務援助

#### ○令和元年度技術指導契約一覧（令和 2 年 3 月 1 日現在）

- (新) 1 西いぶり広域連合（計画支援）
- 2 三沢市（施工監理）
- 3 大崎地域広域行政事務組合（施工監理）
- 4 北秋田市（維持管理）
- 5 湯沢雄勝広域市町村圏組（維持管理）
- (新) 6 北茨城市（施工監理）
- 7 霞台厚生施設組合（施工監理）
- 8 江戸崎地方衛生土木組合（施工監理）
- (新) 9 鹿島地方事務組合（計画支援）
- 10 塩谷広域行政組合（計画支援）
- 11 南那須地区広域行政事務組合（維持管理）
- 12 川越市（計画支援）
- 13 四街道市（施工監理）
- 14 町田市（施工監理）
- 15 武蔵野市（維持管理）
- 16 村上市（維持管理）
- 17 飛騨市（維持管理）
- (新) 18 伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合（施工監理）
- 19 西知多医療厚生組合（計画支援）
- 20 姫路市（施工監理）
- 21 出雲市（施工監理）
- 22 岩国市（維持管理）
- 23 今治市（維持管理）
- 24 人吉球磨広域行政組合（維持管理）
- 25 浦添市（計画支援）
- 26 北薩広域行政組合（施工監理）
- 27 那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合（施工監理）
- 28 比謝川行政事務組合（施工監理）
- 29 倉浜衛生施設組合（維持管理）
- (新) 30 豊橋市（維持管理）

( 30 団体 ( 継続 25 団体 ) )

○支援内容別実績一覧

年 度	計 画	施工監理	維持管理他	合 計
26 年度	6	11	9	26
27 年度	8	14	7	29
28 年度	11	17	7	35
29 年度	10	14	7	31
30 年度	10	13	7	30
元年度	6	13	11	30

2)技術相談

ごみ処理施設などの廃棄物処理施設の建設や維持管理について技術相談に応じるとともに、これらに関する技術情報の提供などを行う。また、廃棄物処理技術に関する問い合わせ等について専門的な立場から回答、案内を行っている。

2. 廃棄物処理技術検証・確認事業

全国の廃棄物処理技術の向上と相互協力の見地から、地方公共団体の立場を理解し、たうえで企業が開発する廃棄物処理に係る技術について検証・確認し、地方公共団体に新技術について技術情報提供を行っている。

参考：廃棄物処理技術検証・確認事業の実績

- 第 1 号 川崎サーモセレクト式ガス化溶融技術 (H11 年度)
- 第 2 号 神鋼・ルルギ式ストーカ焼却技術 (H11 年度)
- 第 3 号 住友金属式シャフト炉型直接ガス化溶融技術 (H12 年度)
- 第 4 号 外熱キルン式炭化脱塩技術 (H12 年度)
- 第 5 号 バブコック日立・スタインミュラー式ストーカ焼却技術 (H13 年度)
- 第 6 号 コンポガス式メタン発酵技術 (H13 年度)
- 第 7 号 川鉄内熱式ごみ炭化技術 (H14 年度)
- 第 8 号 コークスベッド灰溶融技 (H14 年度)
- 第 9 号 リンデ式メタン発酵技術 (H15 年度)
- 第 10 号 外熱キルン式ごみ炭化技術 (H16 年度)
- 第 11 号 荏原内部循環流動床熱分解焼却技術 (H17 年度)
- 第 12 号 無希釈二相循環式メタン発酵技術 (H18 年度)
- 第 13 号 スタインミュラー式ストーカ焼却技術 (H26年度)
- 第 14 号 ドランコ式メタン発酵技術 (H28年度)

## VI 適正処理困難廃棄物対策事業

### 1. 中央適正処理困難指定廃棄物対策協議会

#### 1) 適正処理困難指定廃棄物対策協議会の運営

本協議会は、適正処理困難指定廃棄物の処理体制の整備に向け、関係者と協議するに当たり市町村（会員以外の市町村も含む）の意向の集約化及び情報の把握等を行うため、設置されており、その事務局を当法人が担当し、その運営に当たっている。

#### (1) 中央適正処理困難指定廃棄物対策協議会（第 57 回）

日時：令和 2 年 1 月 31 日（金）

場所：東京ガーデンパレス

- 議事：① 小型充電式電池（リチウムイオン電池）等の適正処理について  
② 高圧ガスボンベ等の適正処理について  
③ 廃スプリングマットレスの適正処理について  
④ 在宅医療廃棄物の収集状況について  
⑤ その他

#### 2) 関係業界との協議等

##### (1) 各地区協議会主催の研修会における広報活動

##### ① 公益財団法人自動車リサイクル促進センター

「二輪車リサイクルシステム」に係る広報の実施。

##### ② エアゾール製品処理対策協議会

「ガス抜きキャップの使い方」に係る広報の実施。

##### (2) 令和元年度消火器リサイクルシステム評価推進委員会

第 1 回：令和元年 9 月 11 日（水）

### 2. 使用済み乾電池等広域回収・処理事業

#### 1) 事業概要

環境省（当時の厚生省）からの「使用済み乾電池の適正処理の推進を援助する組織体制の整備に関する依頼（昭和 60 年 8 月）」に基づき、（公社）全国都市清掃会議内に「使用済み乾電池広域回収・処理連絡会」を設置し、全国の市町村を対象に「使用済み乾電池等の広域回収・処理計画」により分別・収集された使用済み乾電池等を運搬、処理・処分するシステムの運営・管理事業を「使用済み乾電池等広域回収処理事業」として昭和 61 年度から実施。また、平成 11 年 4 月に蛍光管を対象品目に加える。

#### 2) 使用済み乾電池等広域回収・処理連絡会加入団体数（令和 2 年 3 月 31 日現在）

団体数：617 団体（市 321、町 134、村 22、組合 140）

延市町村数：972 市町村（市 526、町 372、村 74）

### 3)使用済み乾電池等広域回収処理事業

#### (1) マニフェストシステムによる使用済み乾電池等の広域回収処理実績

##### ①令和元年度実績（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

\*使用済み乾電池等の運搬、処理・処分量 6,785 トン

内訳 使用済み乾電池 4,862 トン

使用済み蛍光管等 1,923 トン

##### ②昭和 61 年度から令和 2 年度 2 月 29 日までの累計実績

\*使用済み乾電池等の運搬、処理・処分量 236,554 トン

内訳 使用済み乾電池 191,416 トン

使用済み蛍光管等 45,138 トン

#### (2) 使用済み乾電池等の運搬、処理・処分の管理方針に基づく通知

①根 拠：廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 4 条第 9 号イ

②通知先：北海道、大阪市、北見市

③通知日：平成 31 年 3 月 5 日

#### (3) 使用済み乾電池等の広域回収・処理計画実施状況報告

平成 30 年度使用済み乾電池等の広域回収・処理計画の実施状況を報告書に取りまとめ、令和元年 7 月 1 日、ホームページに掲載するとともに会員へ報告。

#### (4) 使用済み乾電池等の運搬、処理・処分の管理方針に基づく現地調査

①根 拠：廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 4 条第 9 号ロ

②調査日及び調査先

◆令和元年 9 月 26 日（木）

広域回収・処理センター（野村興産(株)イトムカ鉱業所）

◆令和元年 11 月 8 日（金）

広域回収・処理センター（野村興産(株)関西工場）

③調査項目 (1) マニフェスト伝票の保管及び履行状況の確認。

(2) 広域回収・処理センター施設の管理・運営状況の確認。

(3) 廃棄物処理法等関係法令に基づく広域回収・処理センター施設管理データの確認。

#### (5) 使用済み乾電池等広域回収処理事業管理・運営協議会

日 時：令和 2 年 1 月 9 日（木） 15 : 30 ~ 17 : 00

場 所：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前

出席者：北海道、大阪市、北見市、全都清

審議事項：(1) 令和元年度使用済み乾電池等の広域回収・処理計画実施状況について

(2) 令和 2 年度使用済み乾電池等広域回収・処理計画について

(3) その他



## Ⅶ 廃棄物処理プラント保険事業

### 1. 概要

本事業は、各地方自治体等が所有・使用・管理するごみ処理施設、粗大ごみ処理施設及びし尿処理施設内の機械設備が不測かつ突発的な事故により損傷を受けた場合に、これをもとの稼働可能な状態に復旧するための修理費を補償することを目的に昭和61年4月から実施している。

なお、各地方自治体が採用している建物共済等でカバーできない事故による損害をカバーするものとなっており、建物共済と補償が重複することはない。

また、本事業では、廃棄物処理施設のリスクマネジメント研修会を通じて事故の未然防止と対応など情報交換を行っている。

### 2. 廃棄物処理プラント保険加入実績

- ・ 64 団体（102 施設）が加入。（平成 31 年 4 月現在）

### 3. 保険設計上の特色

#### (1) 火災共済ではカバーできない事故の補償

火災共済では補償できないプラント設備特有の電氣的・機械的事故や、異物混入などの不測かつ突発的な事故を幅広く補償。また、損害額は新価（再調達価額修理費用）で補填されるため、機械の経年減価率に関わらず損害額を実額で補償。

#### (2) プラントの機械設備を全て包括して補償

廃棄物処理プラント保険では、プラントの機械設備一式全てを保険の目的とする。（建物、基礎部分は除く。）プラントの機械設備を包括して補償するため、保険手配の事務が簡素化されると同時に、保険の付け忘れ等の心配がない。

#### (3) 保険料支払の猶予を設定

地方自治体の出金手続き等を考慮して、保険料の支払い猶予期間を設定している。4月1日加入の場合、事前にご加入の申込があれば、保険料の支払前に補償が開始するので、保険料の支払は補償開始後（60日以内）とすることが可能。

#### (4) 新設プラントに対する割引や無事故による割引制度

運転開始から4年間の新設プラントには最大18%の新機械割引が、運転開始から2年間の新設プラントにはメーカー保証がある場合は、最大12%のメーカー保証割引が適用。